

三十日青林其他委員ト認めテ十数名電氣工場樓上ニ集合シ議
議シ午前十一時頃漸ク自己受持作業場ニ就キタル時々造船
造機、製鉄等ノ各工場ニ同志ヲ訪ヒ勸誘ニ努メタリ
午後四時退場後同志ハ電正会榮会式場ニ赴ケリ之ヨリ先友
愛会神戸聯合会ニ於テ各團體ヲ網羅シテ五回労働大会ヲ開催
スヘク協議シタル趣ナルヲ右ハ不日神戸市内各労働團體聯合労働
大会ヲ開キ決議ヲナン團體交渉権確認運動ニ着手スヘキ準備行
爲ニシテ一般テ略トシテハ賀リ、久留兩名委員長トナリ造船労働
合其他五個團體ノ代表職工数名ヲ選定シ鐵工場百人以上ヲ有スル工
場主ニ向テ交渉ヲ開始シ若シ要求ノ容レラレサルトキハ總同盟罷業
ヲ決行スヘキ段取ニテ進マント申合フナンタリトイフ尚電正会員
ノ要求條件ハ後記曰ノ如ク訂正シタルヲカ提出期ハ未定ナリ

會社側ノ意見ハ素ヨリ職工要求ニヨリテ賃銀増加其他ノ件ニ付キ議スル考ナク殊ニ
一ノ項ノ如キ大問題ハ先以テ会社ノ組織ヲ変更セサレハ到底之ニ應スル能ハス且ソ松
方社長外遊中ナレハ我等留守居ノ重役ニテ如何トモスル能ハス七月一日各部長
又ハ係長ニ命ジテ役付職工ニ其旨口頭ニ達セシメテ山本重役ハ尚
也ニ附加シテ後令如何ナル方法ニ依リテ要求ヲナストモ会社ハ此際断シテ
座スル能ハス場合ニ依リ工場ノ一部ヲ閉鎖スルヲ辞セサルコトハ洩シ居シリ
本一日ノ状況ハ電正工作部職工ノ意見書ニハ濃ク示ナルモ何等不穩
ノコトナシ

一 労働委員会ノ組織要綱

一 一定ノ職工ヲ有スル工場毎大工場ニ在リテハ職場毎ニ労働委員会ヲ設ケ後
者ニ於テハ更ニ工場毎ニ聯合委員会ヲ設クルコト